

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬白

2024年3月

【記】

◇新規受託開始検査項目

遅発育抗酸菌(SGM)薬剤感受性検査	項目コード:8608
迅速発育抗酸菌(RGM)薬剤感受性検査	項目コード:8609
抗酸菌同定・感受性セット	項目コード:1415

受託開始日:2024年4月1日(月)受付分より

非結核性抗酸菌は、その成長の速さによって大きく2つのタイプに分けられます。一つは遅発育抗酸菌 (slowly growing mycobacteria : SGM) で、もう一つは迅速発育抗酸菌 (rapidly growing mycobacteria : RGM) です。SGM には、MAC (*Mycobacterium avium* と *M.intracellulare*) や *M.kansasii* が含まれ、これらは非結核性抗酸菌症という疾患でよく検出されます。一方、RGM は主に環境中に存在する菌ですが、中にはヒトに対して病原性を有する *M.abscessus*、*M.fortuitum*、*M.chelonae* なども含まれています。近年では、*M.abscessus* は、MAC や *M.kansasii* に次いで感染報告が増えています。非結核性抗酸菌症の治療には、長期間にわたり複数の薬を組み合わせる化学療法が必要となるため、適切な薬剤選択が非常に重要となります。

※ 検査要項の詳細は次頁をご参照下さい

■ [8608] 遅発育抗酸菌(SGM)薬剤感受性検査

■ [8609] 迅速発育抗酸菌(RGM)薬剤感受性検査

◇検査要項

検査項目名	遅発育抗酸菌(SGM) 薬剤感受性検査	迅速発育抗酸菌(RGM) 薬剤感受性検査
項目コード	8608	8609
検体必要量	菌 株：抗酸菌の発育が認められるもの 生検体：喀痰(1.0～2.0mL)、胃液(2.0～10.0mL)など	
容 器	菌 株：抗酸菌用培地 / 生検体：喀痰容器、滅菌容器など	
保 存 方 法	菌 株：常温 / 生検体：冷蔵	
検 査 方 法	液体培地希釈法	
実 施 薬 剤	14種類(詳細は次頁をご参照ください。)	
所 要 日 数	21日～28日	
検 査 実 施 料	400点	
判 断 料	150点(微生物学的検査)	

注意事項

- 遅発育抗酸菌(SGM)薬剤感受性検査は、抗酸菌同定検査にて、遅発育抗酸菌が検出された場合のみ実施致します。
- 迅速発育抗酸菌(RGM)薬剤感受性検査は、抗酸菌同定検査にて、迅速発育抗酸菌が検出された場合のみ実施致します。
- 結核菌群が検出された場合は、受付不可となります。
結核菌群に対する薬剤感受性検査をご希望される際は、結核菌群(TB)薬剤感受性検査(TB耐性検査)【項目コード:1074】をご依頼下さい。
- 生検体でのご提出の場合は、抗酸菌培養検査及び抗酸菌同定検査も一緒にご依頼下さい。
培養検査実施後、陽性となった場合のみ、抗酸菌同定検査を実施し、菌種確定後に薬剤感受性検査を実施致します。

<参考> 小川培養【項目コード:8804】

液体培養(MGIT法)【項目コード:8908】

抗酸菌同定【項目コード:8873】

- 追加検査のご依頼は、抗酸菌陽性株の保存期間(1ヶ月)内にお問い合わせ致します。
- 貴施設にて、抗酸菌の培養・同定検査を行った後の菌株でご提出の場合は、雑菌が発育していないことをご確認の上、菌種名を依頼書にご記入ください。
尚、同定されていない菌株でご提出の場合は、抗酸菌同定検査も同時にご依頼ください。
菌種確定後に対象の薬剤感受性検査を実施致します。
- 所要日数には、培養及び増菌にかかる日数は含まれておりません。

◇実施薬剤一覧・報告様式

遅発育抗酸菌(SGM)薬剤感受性検査		迅速発育抗酸菌(RGM) 薬剤感受性検査
MAC (<i>M.avium/M.intracellulare</i>)	MAC以外	
INH(イソニアジド)	INH(イソニアジド)	LVFX(レボフロキサシン)■
RFP(リファンピシン)	RFP(リファンピシン)■	AMK(アミカシン)■
EB(エタンプトール)	EB(エタンプトール)	AZM(アジスロマイシン)
KM(カナマイシン)	KM(カナマイシン)	CAM(クラリスロマイシン)■
AMK(アミカシン)■	AMK(アミカシン)■	CLF(クロファジミン)
AZM(アジスロマイシン)	AZM(アジスロマイシン)	DOXY(ドキシサイクリン)■
CAM(クラリスロマイシン)■	CAM(クラリスロマイシン)■	FRPM(ファロペナム)
DOXY(ドキシサイクリン)	DOXY(ドキシサイクリン)■	IPM(イミペネム)■
LZD(リネゾリド)■	LZD(リネゾリド)■	LZD(リネゾリド)■
MFLX(モキシフロキサシン)■	MFLX(モキシフロキサシン)■	MEPM(メロペネム)■
MINO(ミノサイクリン)	MINO(ミノサイクリン)■	MFLX(モキシフロキサシン)■
RBT(リファブチン)	RBT(リファブチン)■	STFX(シタフロキサシン)
STFX(シタフロキサシン)	STFX(シタフロキサシン)	TOB(トブラマイシン)■
TH(エチオナミド)	TH(エチオナミド)	ST(スルファメトキサゾール・トリメトプリム)■

※1 セット検査となりますので、実施薬剤の選択は出来ません。

※2 最小発育阻止濃度 MIC 値(単位:µg/mL)をご報告致します。

CLSI 判定基準のある薬剤(■マーク)につきましては、S.I.R も併せてご報告致します。

※3 MAC 検出時におけるアミカシン(AMK)につきましては、アミカシン及びアミカシン(吸収)それぞれに対して報告を致します。

<参考資料> 結核菌群(TB)薬剤感受性検査(TB 耐性検査)実施薬剤一覧

SM(ストレプトマイシン)	PAS(パラアミノサリチル酸)	INH(イソニアジド)
KM(カナマイシン)	EVM(エンビオマイシン)	EB(エタンプトール)
RFP(リファンピシン)	TH(エチオナミド)	CS(サイクロセリン)
LVFX(レボフロキサシン)		

※ S.Rでの報告となります。

■ 抗酸菌同定・感受性セット検査

◇検査要項

検査項目名	抗酸菌同定・感受性セット
項目コード	1415
セット内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 抗酸菌同定検査 ■ 抗酸菌薬剤感受性検査 <ul style="list-style-type: none"> ・結核菌群(TB)薬剤感受性検査(TB耐性検査) ・遅発育抗酸菌(SGM)薬剤感受性検査 ・迅速発育抗酸菌(RGM)薬剤感受性検査
検体必要量	菌 株：抗酸菌の発育が認められるもの 生検体：喀痰(1.0～2.0mL)、胃液(2.0～10.0mL)など
容 器	菌 株：抗酸菌用培地 生検体：喀痰容器、滅菌容器など
保 存 方 法	菌 株：常温 / 生検体：冷蔵

注意事項

- 抗酸菌同定検査を実施し、検出された抗酸菌に応じて薬剤感受性検査を自動的に選択して実施致します。

実施条件	実施検査項目
結核菌群検出時	結核菌群(TB)薬剤感受性検査(TB耐性検査)
非結核性遅発育抗酸菌検出時	遅発育抗酸菌(SGM)薬剤感受性検査/MIC測定
非結核性迅速発育抗酸菌検出時	迅速発育抗酸菌(RGM)薬剤感受性検査/MIC測定

- 抗酸菌同定・感受性セット検査には、抗酸菌培養検査は含まれておりません。
- 生検体の場合は、抗酸菌培養検査も一緒にご依頼下さい。
培養検査実施後、陽性となった場合のみ、抗酸菌同定検査をおこない、菌種確定後に対象の薬剤感受性検査を実施致します
- 追加検査のご依頼は、抗酸菌陽性株の保存期間(1ヶ月)内にお問い合わせ致します。
- 貴施設にて、抗酸菌の培養検査を行った後の菌株でご提出の場合は、雑菌が発育していないことをご確認の上、ご提出ください。